

令和4年度予算の概要

●歳入

一般会計の歳入については、歳入の根幹をなす市税が356億2113万1千円で、前年度当初予算と比較して、13.8%の増を見込んでいます。

●歳出

構成比で最も大きな割合を占めているのは、子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉を中心とした民生費で、39.7%の246億561万8千円です。次いで、教育費で、16.0%の99億4936万9千円、次に、土木費が、14.9%の92億3260万4千円となっています。なお、歳出に占める投資的経費*の割合は、14.9%です。

*道路、公園、学校など社会資本の整備に関する経費で普通建設事業費、災害復旧事業費など

当初予算

一般会計	620億円
特別会計	243億7355万5千円
企業会計	98億7346万1千円
合計	962億4701万6千円

令和4年度 主要施策

(1) DXの推進に向けた取組

事業名	事業の内容	予算額(千円)
スマートシティ推進事業	ICTなどの新技術や各種データを活用したスマートシティを推進するため、協議会の開催、スマートシティ構想の策定および実証実験を行う。	30,550
ICT活用推進事業	迅速で的確なサービスと業務の効率化を図るため、市民公開型GIS(地理情報システム)、富士松支所オンライン窓口用Web会議システム、ペーパーレス会議システムおよびAI議事録作成システムの導入などを行う。	60,375
賦課・徴収事務システム改修事業	市民などの利便性の向上および事務の効率化を図るため、システム改修により税の賦課・徴収の手続などを電子化する。	40,582
道路管理事業	道路の安全性の向上および維持管理の効率化を図るため、AIにより道路の異常を検知し、位置情報や画像などを管理者へ提供する道路維持管理支援システムを導入する。	2,068

(2) 脱炭素社会の実現に向けた取組

事業名	事業の内容	予算額(千円)
地域新電力会社出資事業	地域の脱炭素化、エネルギーの地産地消および地域経済の活性化を図るため、刈谷市、知立市およびパートナー事業者の共同出資による地域新電力会社を設立するための資本金を出資する。	5,000
公共施設LED化事業	環境負荷および維持管理経費の軽減を図るため、中央図書館など10施設の照明をリースによりLED化する。	8,000
公園施設設置事業	利用者の安全性や利便性の向上とともに、環境負荷および維持管理経費の軽減を図るため、狩野公園テニスコートのナイター照明灯をLED化するほか、竜ヶ根池北広場へのあずまやの設置などを行う。	58,900

(3) 守ろう！安心安全と健康

事業名	事業の内容	予算額(千円)
災害対策管理事業	災害時の支援体制を強化するため、備蓄倉庫内の備蓄品を計画的に更新するとともに、福祉避難所に要配慮者用の備蓄品を配備する。	48,208
救援物資物流体制構築事業	市民の生命や財産を災害から守る体制を構築するため、災害時における防災備蓄品などの輸送業務を、適正かつ円滑に実施するためのマニュアル策定および訓練を行う。	4,000
高潮ハザードマップ作成事業	市民の防災意識の向上を図るため、高潮ハザードマップを作成し全戸配布するとともに、外国語版データの公開を行う。	2,508
タクシー料金助成事業	障害者および高齢者の外出支援の拡充を図るため、タクシー料金助成利用券の交付対象者に、新たに自動車税および軽自動車税種別割の減免を受けている人を加える。	61,084
介護人材確保・育成支援事業	新たな介護人材を確保し、安定的な介護保険サービスの提供の継続を図るため、介護職員初任者研修費について、事業者向けの補助に加え、新たに個人向けの補助を行う。	1,571
高齢者日常生活支援事業	在宅の一人暮らし高齢者などの、日常生活における安全確保および不安解消を図るため、貸与する緊急通報機器を固定型から携帯型に変更するとともに、新たに安否確認のためのセンサーを貸与する。	4,303
介護施設等整備費補助事業	認知症高齢者グループホームおよび看護小規模多機能型居宅介護事業所が、開設時から安定した質の高いサービスを提供できる体制整備を支援するため、施設整備費および開設準備経費に対して補助金を交付する。	89,853
基幹型地域包括支援センター整備事業	高齢者福祉の充実を図るため、令和4年度に社会福祉協議会内に新設される(仮称)刈谷市基幹型地域包括支援センターが、令和5年度から市役所で運営を開始できるよう庁舎の改修を行う。	6,700